

# 経済産業省のAI政策のご紹介

2026年7月14日

AI産業戦略室

# ● AIの活用事例（SHEIN社）

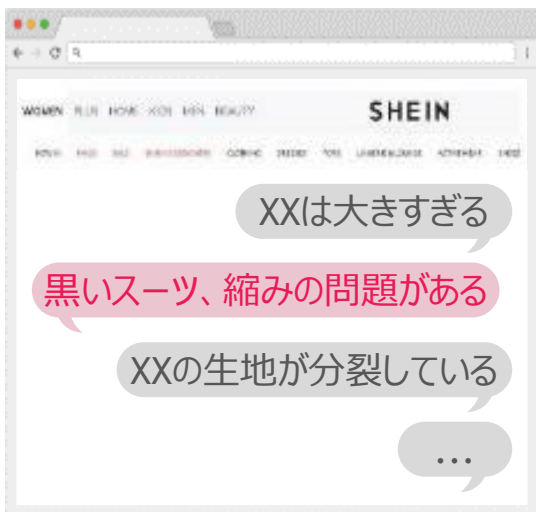
AIを使ってサプライチェーン管理プロセス全体を自動化し、商品改善サイクルを超高速化



消費者

消費者の声の収集と伝達

消費者コメント



AIシステム

各商品のフィードバックに対して  
関連性の分析を実行

商品レベルのコメント



サイズ

収縮問題

バージョン違い

生地の裂け目

ジッパーが  
低すぎる

...



デザイナー

消費者の声をデザイン言語に  
翻訳し、デザイナーに連携

デザイン言語

お客様の声

生地収縮の問題

デザイン言語

5%の洗濯収縮率の  
スーツの生地に変更

商品データベースに  
オリジナル生地を  
"易収縮性"とマーク



サプライヤー

メーカーが実行可能な指示に  
変換し、サプライヤーに連携

製造言語

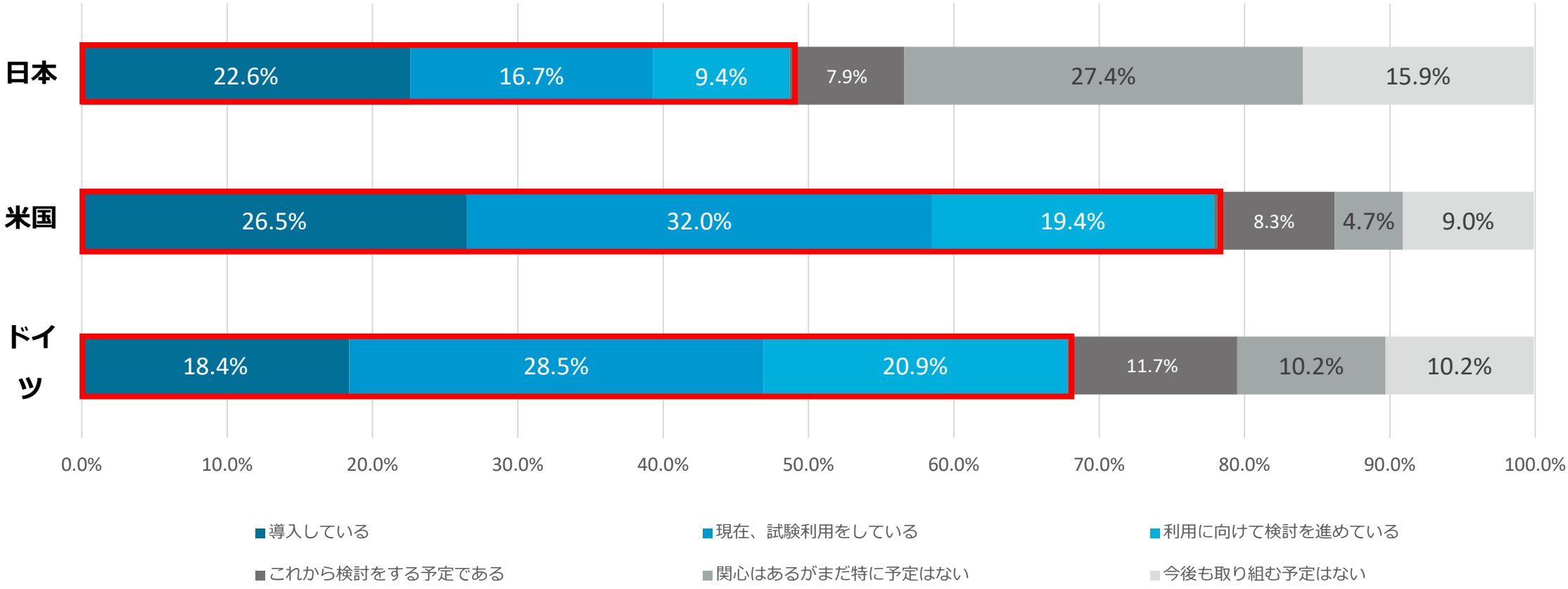


データベースのNo.###ファブリックを  
使用

生地の裁断前に2回の  
洗濯収縮テストを加える

# 生成AIの導入状況①

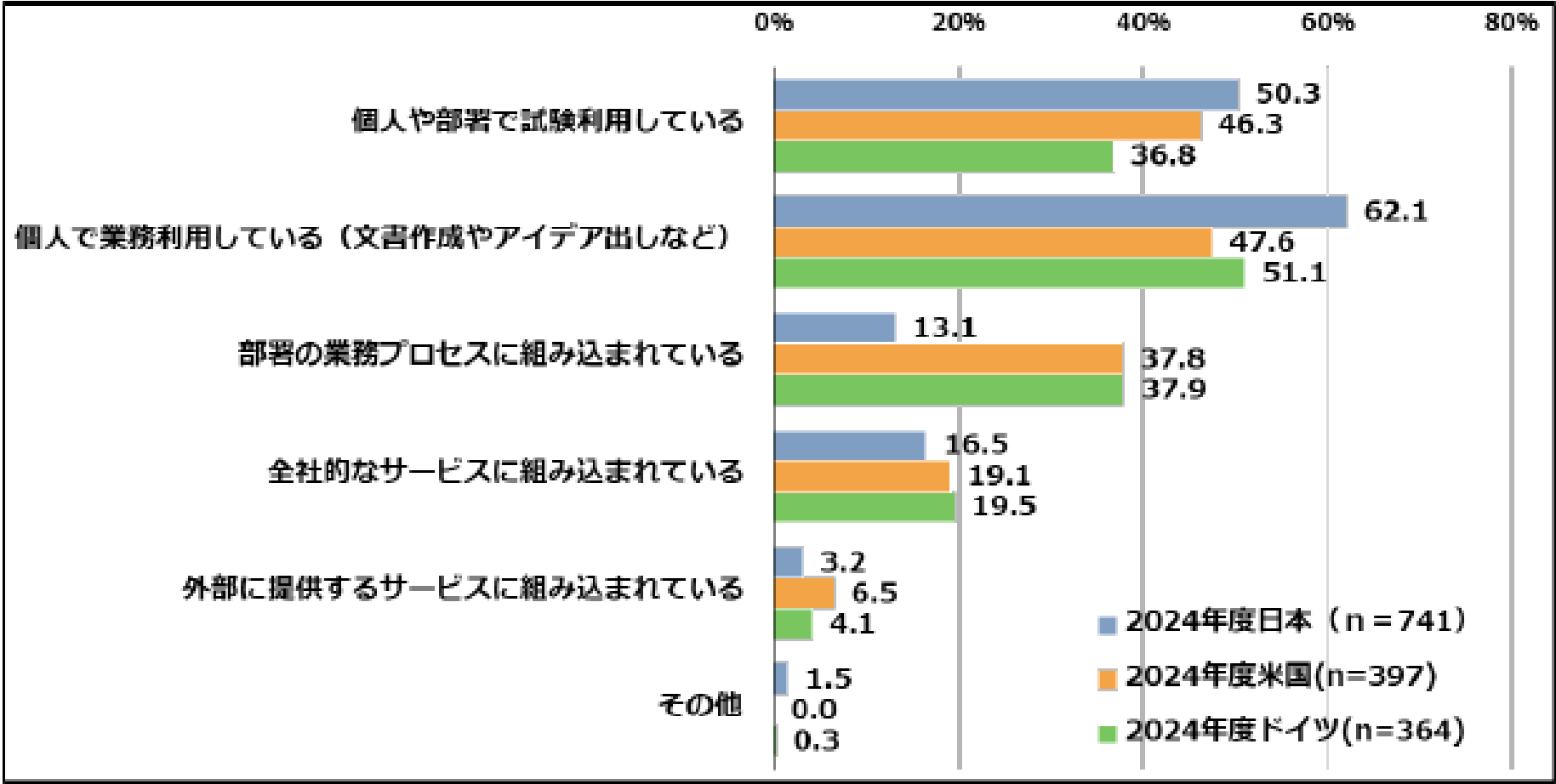
- 日本企業の生成AIの導入は遅れている。



出典：独立行政法人情報処理推進機構「DX動向2025（本文）」（2025年6月26日）を基に作成

# 生成AIの導入状況②

- 日本企業の生成AIの導入は、個人レベルでは進んでいるが、組織レベルでは遅れている。

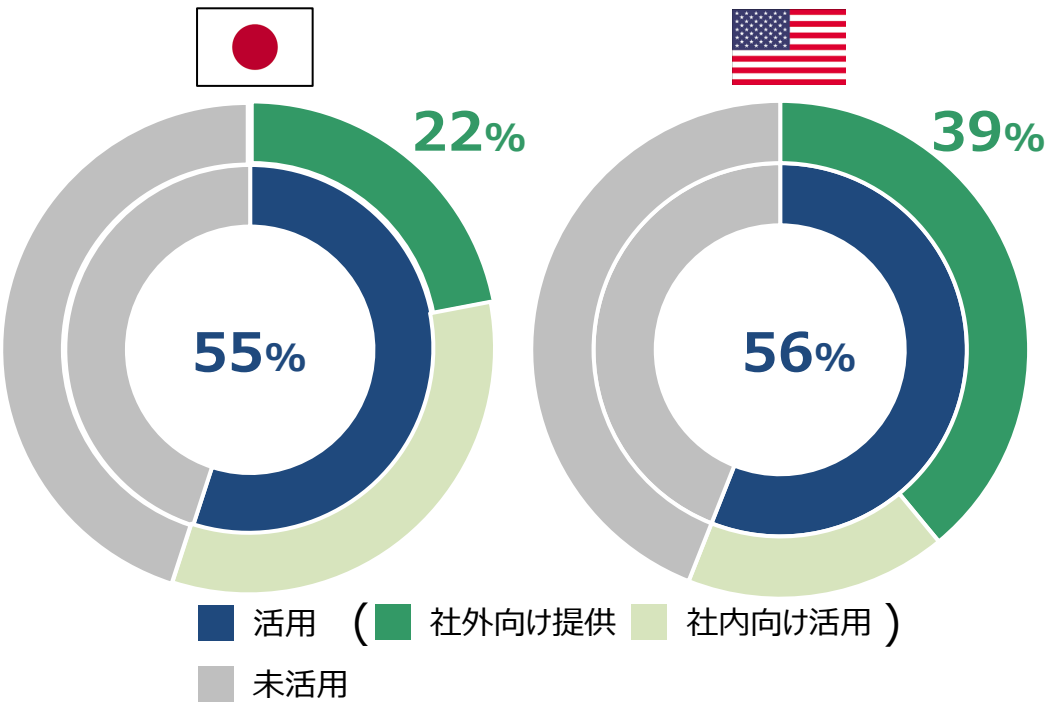


出典：独立行政法人情報処理推進機構「DX動向2025（本文）」（2025年6月26日）を基に作成

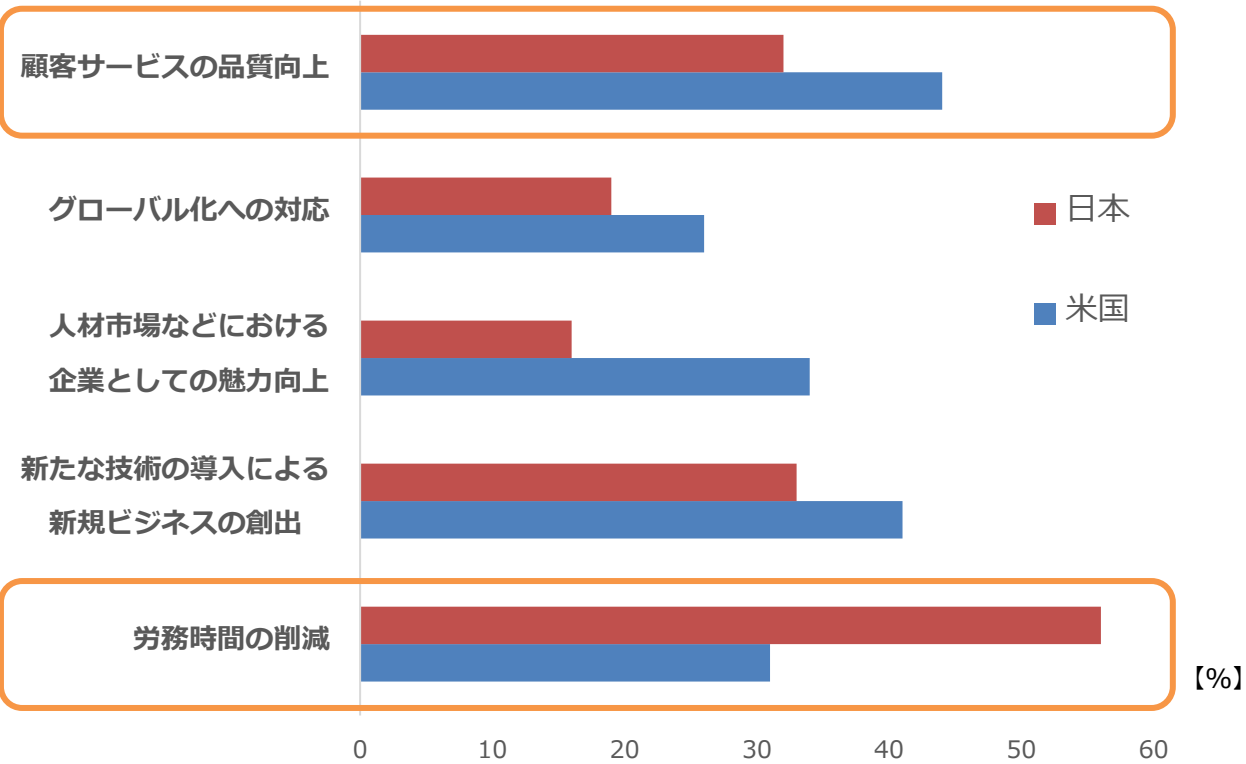
# 生成AIの導入状況③

- 日本企業の社外向け提供における生成AIの導入は遅れている。
- 日本企業の生成AIの導入目的は、社外向けというより社内向けという認識が強い。

企業の生成AIの利活用割合 日本：n=945 米国：n=670



生成AIの期待効果 日本：n=858 米国：n=642



出典：PwC Japan「生成AIに関する実態調査2025春」を基に作成

# 人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律（AI法）

日本のAI開発・活用の遅れ。多くの国民がAIに対して不安。 ▶ イノベーションを促進しつつ、リスクに対応するため、既存の法律に加え、新たな法律が必要。

法目的は、国民生活の向上、国民経済の発展。  
AIは**安全保障**上も重要であり、研究開発力を保持、**国際競争力**を向上。開発・活用の**適正性**を確保。

基本理念

**AI戦略本部**  
総理が本部長、全閣僚が構成員

**AI基本計画**  
政府の基本的な方針を閣議決定

イノベーション促進

研究開発  
施設等の整備・共用  
人材確保  
教育  
関係者の連携

リスクへの対応

**適正性のための指針**  
国際規範（広島AIプロセス）に即した指針の整備

**調査・情報収集**  
必要に応じて**事業者・国民**への指導・助言・情報提供

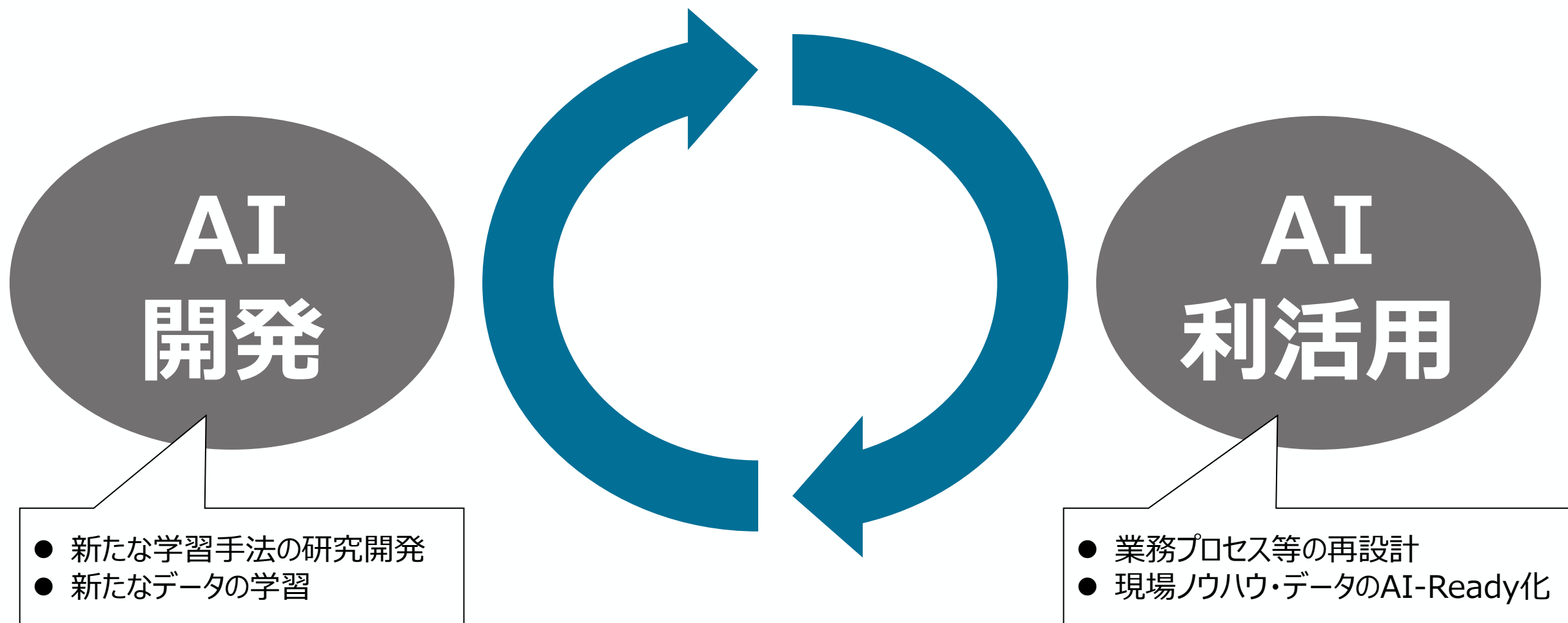
**事業者は国の施策に協力しなければならない**

必要な場合はさらに**所要の措置**を講じる。

## ● 2025年～のトピック

- ✓ AIの低コスト化（DeepSeekショック）
- ✓ AIEージェントへの注目
- ✓ コーディングAIの普及
- ✓ マルチモーダル化の進展
- ✓ フィジカルAIの取組発信

# ● AIの開発と利活用をともに進めていくことが重要



# ● AIを前提にした業務プロセス等の再設計が必要に

## ～AI導入フェーズ

既存業務を効率化するためにAIを一部補助的に活用するビジネスモデル



人を中心に構築された  
コアプロセス

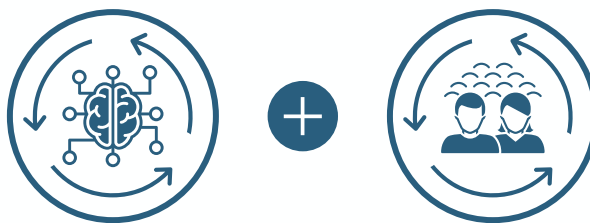
補完するもの  
AIを含むデジタル  
ツール

### 主な特徴

- AIは業務効率や支援に使われるが価値創造の中核業務はになっていない
- デジタル強化の延長として活用される段階

## AI拡大フェーズ

AIを組み込んだプロセス設計が進み、価値創出に向けて人をAIが補完する "共創型" ビジネスモデル



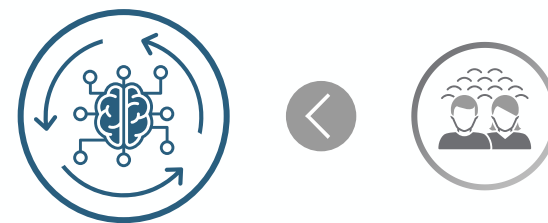
AIエージェントと人が業務を分担

### 主な特徴

- AIエージェントが業務プロセスの中に入り始める
- 人がAIエージェントが業務をを分担し協働

## AI駆動フェーズ

AIを企業活動の中核に据え、**業務プロセス・組織構造・意思決定・提供価値がAIを前提に設計**されている "AI駆動型" のビジネスモデル



AIエージェントを中心に  
構築されたコアプロセス

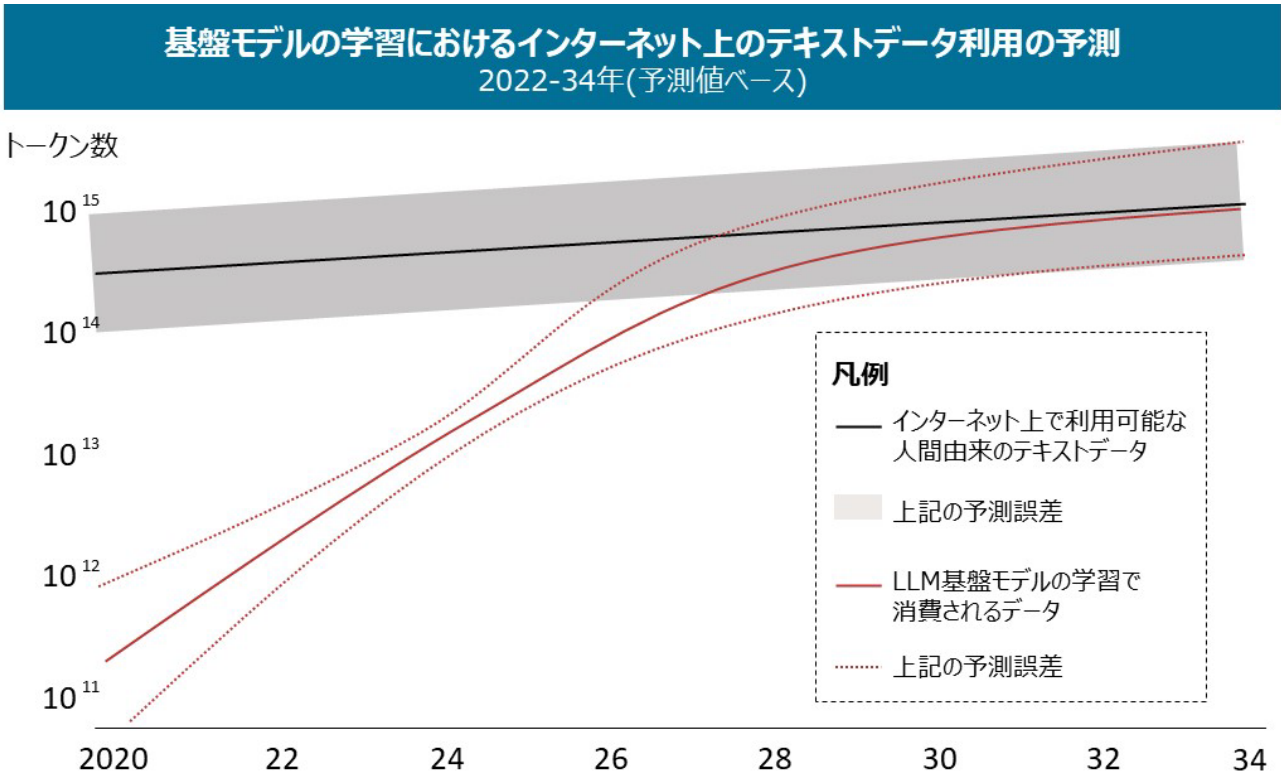
補完するのは人

### 主な特徴

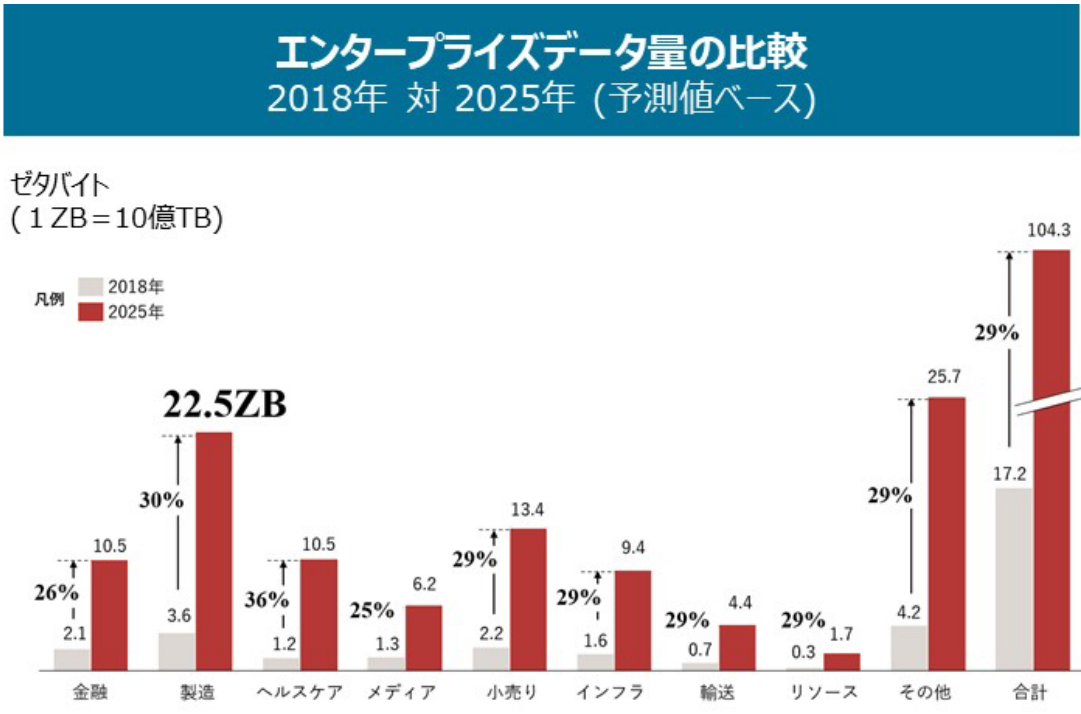
- 意思決定や業務がAIを前提に設計されている
- 組織構造・人材配置・インフラもAI起点で再構築済み

# 現場データの利活用の重要性

- インターネット上のデータを学習し尽くすことが指摘される中、今後のAIの進化には、全世界で流通するデータの6割を占める現場データの利活用がカギに。



(出典) Epoch AI. "Will We Run Out of Data? Forecasting Dataset Size for Language Models." Technical Report, June 2024



(出典) The Digitization of the World From Edge to Core – IDC

# 現場データのAI化

- AI化されていない現場データは、いまだ多く存在する。  
こうしたデータのAI化には現場ノウハウが必要。

## 現場の生データ



保全  
記録



取扱  
説明書



設備図面  
(配管図等)

## AI Ready化

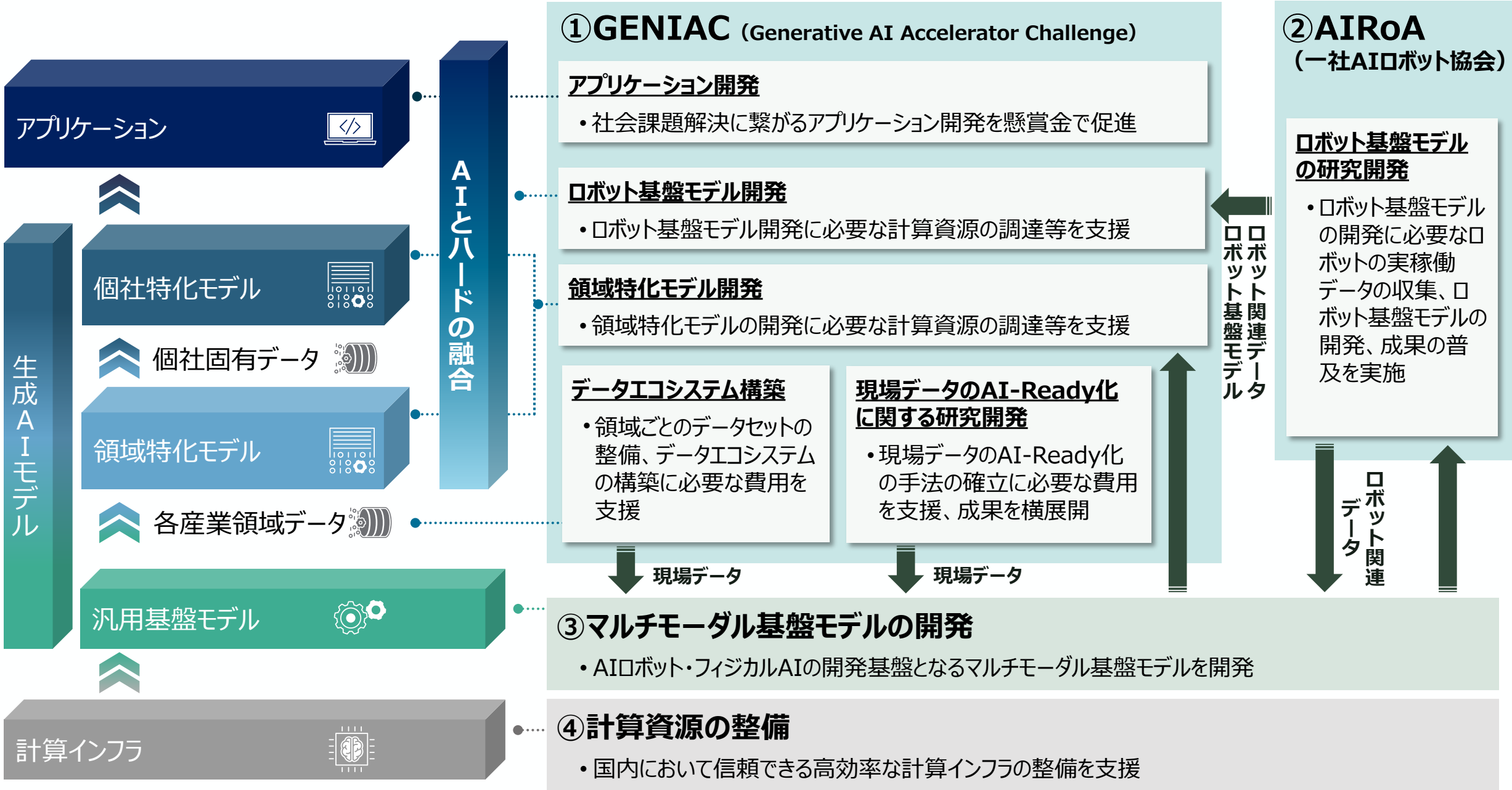
- ・分かりやすい構造 → 構造化、モデリング
- ・適切なサイズ → チャンキング
- ・適切な意味づけ → ベクトル化、ラベリング
- ・高い品質 → 誤り・偏りの少ないデータ
- ・統一された管理 → ガバナンス、セキュリティ
- ・継続的な改善 → モニタリング  
& フィードバック

## AI活用



- ・ AIモデル開発のための学習データセット形成
- ・ AIによる情報探索で企業のインテリジェンスを向上
- ・ AIEージェントによって業務フローを自動化

# AI開発・データ整備支援策の全体像



# 領域特化モデル開発 直近の採択者

| 採択者名                                                                                                      |        | 分野                                                                                   | 開発概要 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------|------|
|  Epigenetic AI 株式会社       | 医療     | 生物学的年齢や臓器別年齢、加齢性疾患リスクなどを予測することができるモデルを開発                                             |      |
|  DIREAVA 株式会社             | 医療     | 外科手術中の映像を理解し、数秒後に起こり得る出血や臓器損傷を画像ベースで予測できるモデルを開発                                      |      |
|  sakana.ai Sakana AI株式会社 | 言語     | 日本の制度・慣習等に適合した最先端のエージェント型AI基盤モデルを、オープンモデルをベースに低コストで開発                                |      |
|  ONESTRUCITION 株式会社       | 建築     | 建設業特化の知識を理解し、業務支援やBIM生成を統合的に実施可能な基盤モデルを開発                                            |      |
|  DubGuild 株式会社DubGuild   | エージェント | コールセンター・カスタマーサポート向けの音声to音声のAIEージェントの開発                                               |      |
|  株式会社biomy               | 創薬     | がん細胞の状態や遺伝子変化をAIで再現し、投薬時の体内細胞の変化をシミュレーションする基盤モデルの開発                                  |      |
|  株式会社 Preferred Networks  | 製造     | 開発済の新素材探索モデル（Matlantis）に対して、原子レベル計算を現実の実験値で補正する事後学習を適用し、融点等の物性実験の再現精度を従来モデルよりも2倍以上向上 |      |
|  株式会社ABEJA               | 製造     | 車の故障原因の特定や修理手順を、熟練整備士の知識を学習したAIが提案する、自動車整備領域特化型AIEージェントの開発                           |      |
|  newmo株式会社               | 自動運転   | VLM を用いた高次の意味理解モデルと、軽量・高速な運転制御モデルを独自アーキテクチャで組み合わせた、日本の交通環境に適合するタクシー向け自動運転基盤モデルの開発    |      |
|  シェルパ・アンド・カンパニー株式会社      | 金融     | 金融領域の非定型文書解析・根拠生成モデルの構築                                                              |      |
|  株式会社Elith              | 金融     | 金融業務で個人情報漏洩等を防止するAIGuardレールモデルの開発                                                    |      |
|  Sansan株式会社            | 文書読取   | 請求書・契約書に特化した指示追従能力の高い視覚言語（VLM）モデルの開発                                                 |      |
|  株式会社Spectee           | 防災     | SNSなどの情報から災害状況を自動で判断するとともに、取るべき行動を提案するAIEージェントの開発                                    |      |
|  株式会社アジラ               | 防犯     | 防犯カメラ映像を理解し、状況を文章で説明する防犯ドメイン特化VLM基盤モデルの開発                                            |      |
|  KDDI株式会社              | インフラ   | ドローンの撮影動画像を解析し、点検・監視・災害対応などに使える多用途対応VLM基盤の開発                                         |      |
|  株式会社メルカリ               | EC     | 40億品超の取引ログデータや、約3000万件のカタログデータ等を統合学習して、曖昧な検索文でもフリマアプリ内の「一点物」を高精度で検索・推薦できる基盤モデルの開発    |      |

# データエコシステム構築 直近の採択者

| 採択者名                                                                                                             | 分野   | 開発概要                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  神戸大学                           | 医療   | 手術ロボットのログとステレオ内視鏡映像を統合し、複数施設で熟練医手術による症例のマルチモーダルデータセットを構築                                                                    |
|  Kawasaki                       | 製造   | 川崎重工業・安川電機・ファナック共同で、製造現場の手先作業を対象に約5,000時間の触覚・視覚・動作のマルチモーダルデータセットを構築                                                         |
|  STATION Ai                     | 製造   | 製造業の実作業を対象に、約8,000時間の作業者目線マルチモーダル（主観映像+手の位置情報データ）及び約2,000時間のロボット動作データセットを構築                                                 |
|  DMG MORI                       | 製造   | 協力企業約100社の生産設備から設備状態・加工・品質・周辺設備データを企業横断で収集し、100TB規模のデータセットを構築                                                               |
|  KOMATSU                        | 製造   | 10以上の工場・600台以上の生産設備から工場システムの実績データを収集し、6種類以上（工程・資源制約・生産計画・生産実績等）のデータセットを構築                                                   |
|  ELEMENTS                       | 製造   | 工場・素材メーカーと協力し、約10,000件の設計図面・製造ログ、約1,500時間の熟練作業動画・解説音声データを収集し、合成データと組み合わせたマルチモーダルデータセットを構築                                   |
|  AIRoA<br>AI Robot Association | 家庭   | Woven City等の実家庭35世帯にロボットを配備し、約7,000時間のロボット動作データセットを構築                                                                       |
|  家事代行のベアーズ<br>Bears           | 家庭   | 約10,000時間の家事代行の熟練スタッフの一人称行動を大規模に収録し、家庭向けフィジカルAI開発に資するデータセットを構築                                                              |
|  法政大学<br>HOSEI University     | インフラ | 全国37.8万km <sup>2</sup> の局所三次元空間データ（1mズーム）・合計500件以上のインフラ点検データ・10万シーン以上の特殊環境（下水道管・トンネル・橋梁下部等）の空間データ収集し、日本のインフラAIを支えるデータセットを構築 |

# 現場データのAI-Ready化に関する研究開発 直近の採択者

| 採択者名                                                                                               |                       | 開発概要                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
|  FLYWHEEL         | 株式会社フライウィール           | 企業内データのAI活用準備度を測る指標、VLMによる論理構造付与等を行うデータ構造化エンジン、データとAIアプリケーションとのインターフェースの機能を有するアーキテクチャを構築  |
|  Stockmark        | ストックマーク株式会社           | VLMによる論理構造付与等のデータ構造化、ヒアリングエージェントによる暗黙知の形式知化、データと業務の紐づけ、機密文書のガバナンス機能の実装フレームワークを構築          |
|  SYNTHETICGESTALT | SyntheticGestalt 株式会社 | 異なる形式で管理されている化合物データを、オープンソースと自社モデルを組み合わせ、AI が直接活用可能な高品質ベクトル表現に変換するデータ構造化エンジンを構築           |
|  FastLabel        | FastLabel 株式会社        | マルチモーダルデータの収集手法、キャプションデータとしての意味付け等、暗黙知データの構造化手法、暗黙知を活用するAIモデルの精度評価手法、データ収集支援システムを開発       |
|  Fairy Devices    | FairyDevices 株式会社     | 製造業における巡回型作業について、作業結果のみならず作業過程を階層的に意味単位へ分解し、AIが学習可能な、時系列構造を保持したデータへ構造化するプロセスを確立           |
|  Aixtal           | アイクリスタル株式会社           | 標準フォーマットが存在しない製造プロセスデータについて、物理的なメカニズムや現場の情報を自動で紐づけて構造化するAIエージェントと、データの処理が可能なプラットフォームを開発   |
|  AIONA           | AIONA株式会社             | LLMを活用したメタデータ抽出等による設計コンテキスト情報の構造化、画像やCAD等マルチモーダルデータのベクトル化を自動化する手法を開発                      |
|  HITACHI        | 株式会社日立製作所             | セマンティクス管理、データモデル変換、完全性検証等の機能を開発し、それらを疎結合に統合したアーキテクチャを構築                                   |
|  Hutzper        | 株式会社フツパー              | システム改修なしでAIがデータソースにアクセス可能とするインターフェース、分断されたデータを接続する因果探索フレーム、設計・製造実行・品質の各データの構造化機能を備えた基盤を構築 |

# コミュニティの運営

- 海外エンジニアを招いたセミナーや、開発者同士／ユーザー同士の勉強会、開発者・ユーザーのマッチングイベント等を、オンライン／オフラインで開催。

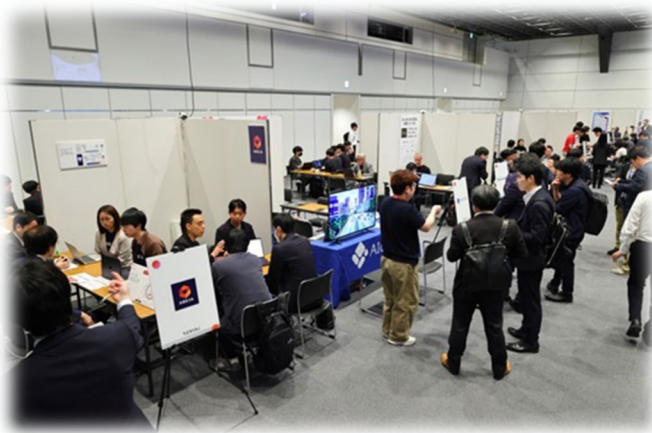
開発者同士の顔合わせ／勉強会



開発者×ユーザーのマッチングイベント



ユーザー同士のテーマトーク回



# AIロボティクス戦略の概要

## 主な対象分野

- 製造業（多品種少量生産）、造船、物流（倉庫・輸配送）、建設・土木、建築、インフラ保守、小売、宿泊業、飲食・食品製造、医療、介護、警備業、農業、林業、廃棄物処理業、災害対応、警察活動、防衛

## 主な目標

- 2040年に60兆円規模に成長するAIロボット市場において、米中に並ぶ第三極として世界シェア3割超（20兆円）の獲得を目指す。

## 主要施策

### （1）世界最先端のAIロボティクスを実現する頭脳（AIモデル）の獲得

- ロボット基盤モデルとそのベースとなる国産マルチモーダル基盤モデルを開発
- 現場環境等でロボットを運用し、大規模にデータを収集・加工し、モデル開発や改善を行うエコシステムを構築

### （2）AIの高度化やSDR（注）の潮流を踏まえた新たなサプライチェーンの構築（注）SDR：Software Defined Robot

- スタートアップからの発展を念頭に、ロボットメーカー育成を総合的に支援
- 重要部品や中核ソフトウェアの設計・開発・製造能力を強化

### （3）AIロボティクスの潜在需要の掘り起こしと導入環境の整備

- AIロボティクス実装ロードマップをまとめ、各市場に応じた対応策（データ収集、導入支援、ルール整備等）を措置

### （4）世界的なAIロボティクスの中核拠点（Center of Excellence（CoE））の整備

- AIロボティクスの専門家とユーザーが参画しながら、現場に近い環境でデータ収集や人材育成等を行う場を構築

NEDO Challenge

NEDO 懸賞金活用型プログラム



# GENIA

PRIZE



想像し、解放し、創造する。

- テーマに応じた具体的なAI関連アプリについて、募集・審査の上、懸賞金を授与。

## 2025年度 テーマ

## 懸賞金総額

民

**国産基盤モデル等を活用した社会課題解決AIエージェント開発  
(Ⅰ. 製造業の暗黙知の形式知化／Ⅱ. カスタマーサポートの生産性向上)**

- ユーザーが主体となり申請（AI開発者やSIerと組んだ申請も可能）、ユーザーの変革につながる検証成果を審査

3.5億円

官

**官公庁等における審査業務等の効率化に資する生成AI開発**

- 特許審査業務をモデルとし、情報探索等を効率化するAIを開発、その性能を審査

2.1億円

安全性

**生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及びリスク低減技術の開発**

- AIのリスクや対応策をセットで提案、評価手法の妥当性や波及効果を審査

2.2億円

# GENIAC-PRIZE 2025（結果）

## 民： 国産基盤モデル等を活用した社会課題解決AIエージェント開発

### I. 製造業の暗黙知の形式知化

1位

**ダイキン工業株式会社/  
Fairy Devices株式会社**  
熟練者の代わりに作業者を支援する  
AIエージェントの開発

2位

**三菱重工業株式会社  
株式会社Algomatic**  
Tig溶接技術を例にした熟練者・非熟  
練者の作業動画の“比較”アプローチ  
による暗黙知の形式知化

3位

**NanoFrontier株式会社**  
LLMを活用した実験自動化

地域賞：10件  
特別賞：4件

### II. カスタマーサポートの生産性向上

1位

**株式会社未来都  
newmo株式会社**  
タクシー配車業務のAI音声対応

2位

**東洋船舶株式会社  
株式会社JDSC**  
「船主支援のAI番頭。メールと  
社内文書を資産に変える！」

3位

**一般財団法人在宅がん療養財団  
株式会社シャルクス**  
がん相談エージェント「ランタン」：  
あなたは一人ではありません

地域賞：8社  
特別賞：4件

## 官： 官公庁等における審査業務等の効率化に資する生成AI開発

特別賞：4件

## 安全性： 生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及びリスク低減技術の開発

1位

**NTT西日本株式会社**  
生成AIにおけるデータの真正性・  
正当性の保護基盤構築 ～IPの  
音声等コンテンツ権利保護と消費  
者の安全性確保への貢献～

2位

**NTTドコモビジネス株式会社**  
日本語特化型AIガードレール  
「chakoshi」による包括的リスク  
低減と安全な社会実装

3位

**トレンドマイクロ株式会社**  
AIエージェントにおける不正なツ  
ール実行リスクへの総合的な対策

特別賞：3件

# GENIAC-PRIZE 2026 の概要

## 今年度のテーマ

## 懸賞金規模

### テーマ1 社会課題

エッセンシャルワーカーの人手不足解消に資するAIを活用した業務プロセス改革

- ユースケースの開拓・利活用を推進し、エッセンシャルワーカーの人手不足解消に資する開発と実証を促進する

**総額6億円**

### テーマ2 人材育成

フィジカルAIに向けた開発者育成 (学生) のための公開型の基盤モデル開発

- 計算資源利用が難しい学生のモデル開発経験を通じて、日本全体の技術レベル向上に繋げる

**総額約0.3億円**  
(他計算リソース等:  
約4億円相当)

本日の説明

課題名 | エssenシャルワーカーの人手不足解消に資するAIを活用した業務プロセス改革

課題の内容 | 現場業務における人手依存の高い作業の効率化・高度化が課題

- 急速な少子高齢化による生産年齢人口の減少がエssenシャルサービス業の人手不足を深刻化、経産省試算では最大76兆円規模の経済損失リスクがある
- 一方で、エssenシャルサービス業におけるAIの活用は依然として十分に進んでおらず、生産性向上や付加価値創出の余地が大きい

**エssenシャルサービス業※における人手不足の課題解消に資する提案を全国から広く募集し、AIを活用した業務効率化や負担軽減に資するシステムの研究開発・実証提案、センサーやロボティクス等のフィジカル技術との連携も含む業務プロセス全体最適化を期待します。**

※エssenシャルサービス業とは、人々の生活に不可欠な物品又は役務を供給する業務と定義し、  
エssenシャルワーカーとは、エssenシャルサービス業の従業員と定義します

# 懸賞金・インセンティブ

✓ **総額6億円**を授与予定

✓ 審査員特別賞は  
総額3億円程度

- **協力省庁特別賞**

- 農林水産省を含む  
4省庁×5,000万円
- 各省庁が受賞企業へ  
のインセンティブとして  
別途伴走支援等を用  
意

- 地域賞 等

**エッセンシャルワーカーの人手不足解消に資するAIを活用した業務プロセス改革**

生成AIを活用したエッセンシャルサービス業における人手不足の課題解消に資する提案を全国から広く募集します。

**懸賞金**

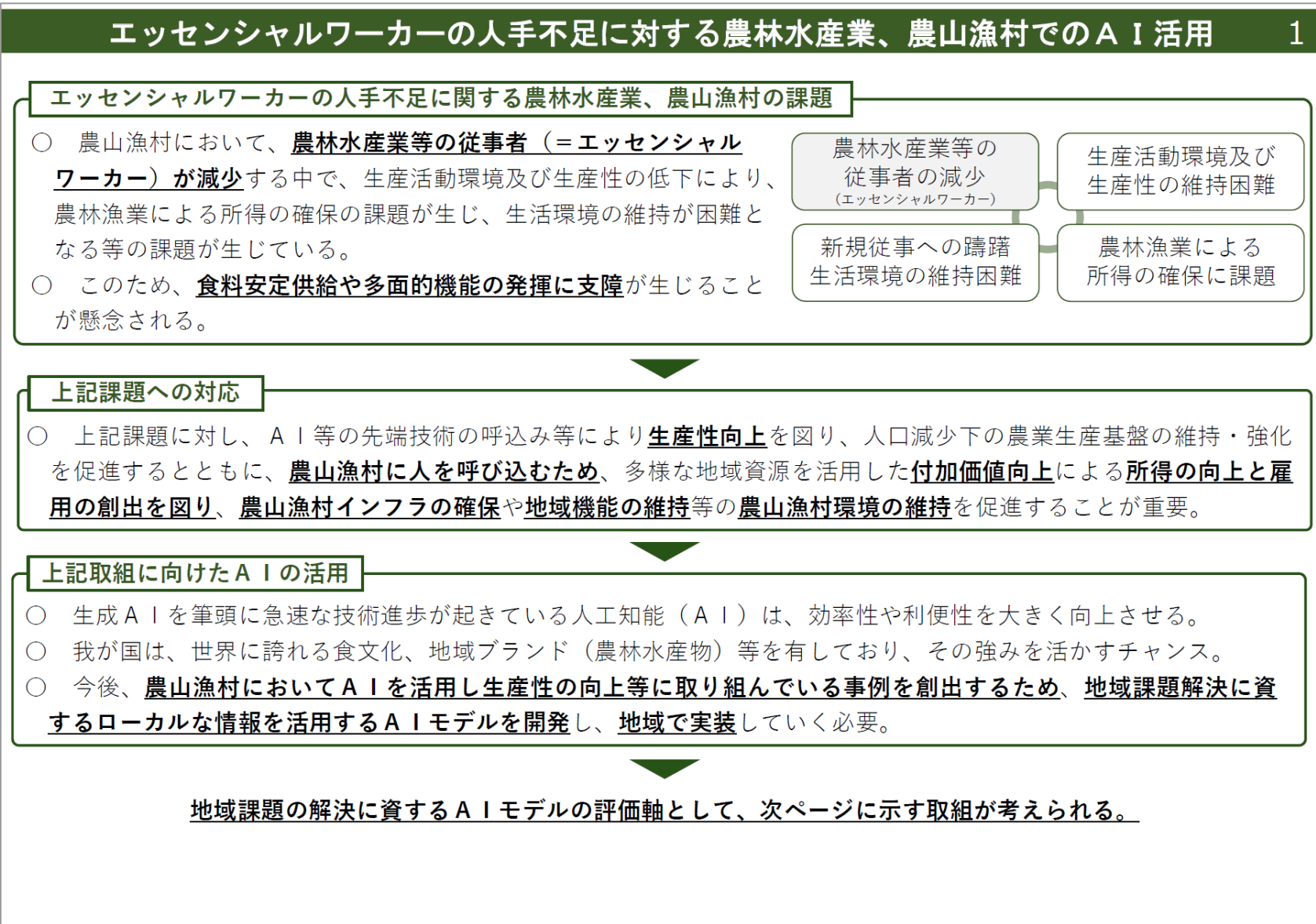
各順位に応じて懸賞金を授与予定です。

|                                                                                                            |                                                                                                            |                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>1 位</b><br>1 億円     |  <b>2 位</b><br>8,000万円  |  <b>3 位</b><br>6,000万円     |
|  <b>4 位</b><br>4,000万円 |  <b>5 位</b><br>2,000万円 |  <b>審査員特別賞</b><br>総額3億円程度 |

※詳細は別途公表予定

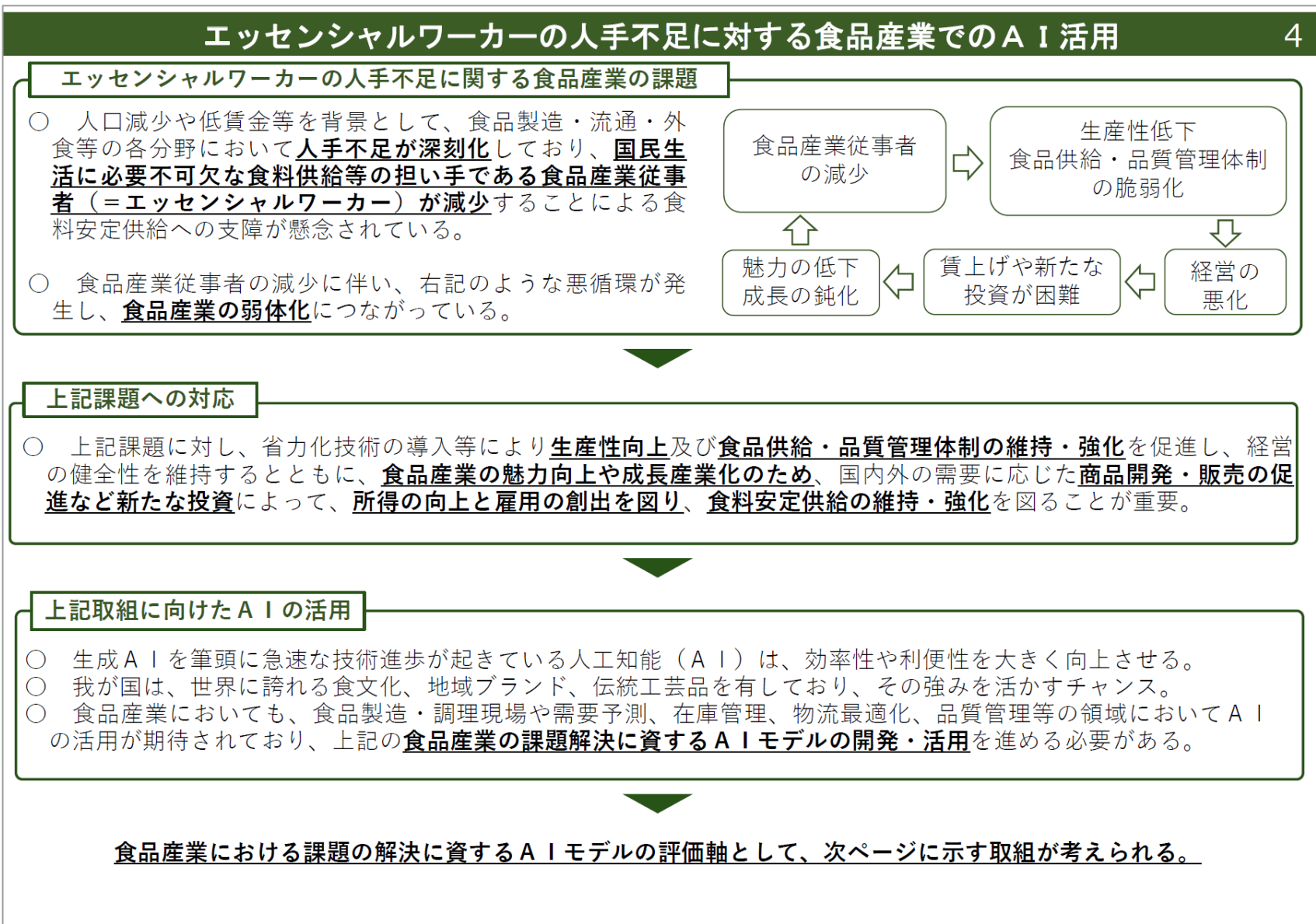
# 農林水産省特別賞において募集する課題（農山漁村でのAI活用）

## ● 農山漁村の活性化に寄与する取組を期待



# 農林水産省特別賞において募集する課題（食品産業でのAI活用）

## ● 食料の安定供給や農林水産・食品産業の持続的な発展が課題



## 応募者概要

北海道三笠市にて、アスパラガス、メロン、ミニトマトなどを生産・販売する夫婦経営の農園



## 応募内容

課題



多品目栽培と多販路化に伴い、バックオフィス業務が増加し、出荷・販売・経営管理の担い手が不足

- ・ 出荷配分を代表が販売実績や天候を基に経験と勘で判断
- ・ 売れ残り等により売上の約30%を失い、所得が低下

応募  
内容



農家の出荷判断を支援する出荷最適化AI

- ・ 売上実績、天候、収穫量、品質、販売傾向などのデータを統合し、AIが店舗ごとの最適な出荷数量や販売価格を提案
- ・ 提案を確認・修正・承認するだけで出荷計画を作成でき、人手不足の軽減、収益向上、フードロス削減を実現。持続可能な農業経営に貢献

ペアとなる  
開発者



ひらめきしゅうたくん(株)

- ・ AIやLINE、DXシステム開発を通じて、企業の業務自動化・デジタル化を支援

使用する  
国産基盤モデル



さくらのAI Engine（さくらインターネット株式会社）